

住み郷南区支部の紹介

○新潟市住みよい郷土推進協議会について

昭和30年頃、新潟市では蚊、ハエ、ねずみなどいわゆる衛生害虫の発生により赤痢、食中毒等の伝染病が多発していました。このような中、当会は、「蚊とハエのいない生活」をスローガンに「蚊とハエ」の駆除実践を目的として昭和32年に設立されました。

現在は、市民自らの手による公衆衛生、環境美化の実践活動を通じて健康の保持増進と生活環境の健全化を推進し、住みよい郷土を目指すことを目的として、市内の約1,550の自治・町内会（233,000世帯）で組織されています。

○南区支部について

平成19年4月1日の区政移行に伴い、前身の白根環境衛生協会から事業を引き継ぎました。

新潟市住みよい郷土推進協議会は北区、江南区をのぞく6つの各支部で生活環境の改善と保健福祉の向上のために活動しています。

南区支部では、令和7年度の主な活動として、会報の発行、環境美化活動への支援、不法投棄禁止ののぼり旗設置、環境啓発看板の配布などを行いました。今後も本部と連携しながら住みよい南区づくりのために活動していきます。

組織図

